



▲笑いと一緒に、新たな気づきをいただきました

少し前まで、ブルーベリーの葉が真っ赤に色づいて、晩秋の庭に彩りを添えていましたが、師走に入ると急に草木も冬景色となりました。一段と寒さが増す年末年始です。どうぞお風邪などひかれませんように。

◆12月5日、中央公民館で「こころふれあう市民のつどい」講演会を開催しました。コロナ対策をし、来場者も事前申し込み制により募りましたが、徐々に会場で多くの方々と感動を共有することができました。講師はお笑いタレントの山田ルイ53世さん。現在、文筆業、コメンテーター、ラジオのパーソナリティーなどでもご活躍です。名門中学へ進学後、ふとしたことから6年間引きこもりとなったご経験を踏まえて、温かいお人柄そのままに、笑いの渦の中で貴重なお話をいただきました。ご講演の中で、「引きこもりの人は自分のルーティンにとらわれず、とりあえず一歩動き出して…」というお言葉が印象的でした。現在、不登校の小中学生は全国で20万人、大人の引きこもりも推定100万人を超えているといわれています。講演のテーマは「僕たちにはキラキラする義務などない」でした。「誰もがキラキラと生きたいわけじゃない」「誰もが生き生きとしたいわけじゃない」確かに、人それぞれ、いろんな生き方があっていいですよね。このご講演で、新たな気づきがありました。ありがとうございます。司会をしていただいた播磨南高校生のお二人もお疲れ様でした。

◆12月5日、総合体育館で少林寺拳法の「地域交流大会」が開催されました。道着に身を包んだ町内外から参加の拳士たちは、体育館の冷え込みをもとせず、凛とした力強い演武を披露。武道館を目指す拳士たちの活躍に期待しています。

播磨町長 清水ひろ子

消防団放水訓練

危機管理グループ ☎079(435)0991

播磨町消防団は11月14日の午前中に蓮池にて放水訓練を実施しました。空気が乾燥して火災が発生しやすくなる季節を前に、消防団の訓練と住民への啓発を兼ねての訓練です。今回も新型コロナウイルス対策として消防車3台ずつ5回に分けて放水を行いました。



▲放水訓練の様子

2021播磨町イルミネーション点灯式

播磨町商工会 ☎079(435)1630

11月19日、JR土山駅の南側広場でイルミネーションの点灯式が行われました。県立播磨南高等学校吹奏楽部の演奏に続いてカウントダウンが行われ、清水町長と平崎商工会長が点灯スイッチを押しました。毎年少しずつデザインが更新されていて、電飾の数も増えています。今年は兵庫大学の学生が企画した滝が青いLEDライトで表現され、タクシー乗り場に近い東側がひとときわ明るく輝いています。

イルミネーションは1月22日(土)まで点灯されます。



▲今年の文字はユニティ。団結や協同を意味する言葉です。

楽屋裏
新しい年の手帳を買いました。「アナログだなあ」と友人に言われました。スマホのアプリを使ったこともありましたが、やっぱり紙の手帳が好きです。ノートタイプの手帳にビッシリ文字を書き込んで、最初はいろんな色のペンやマーカーを使いながら、わかりやすく書き込むのですが、すぐにぐちゃぐちゃになります(苦笑)。見た目はごちゃごちゃですが、楽しい予定でいっぱいになりたいなと思います。(宮)

光のアートフェスタを開催しました

はりまデザインラボ ☎079(437)0141

11月20日、地域連携交流施設駐車場にて「親子で楽しむ光のアート」を開催しました。キャンドルとイルミネーションで幻想的な雰囲気に包まれました。訪れた人はキャンドルの灯で「心がなごみ」、イルミネーションの明かりで「わくわく感」を楽しみました。また、キャンドルで表現した「散歩道」を実際に歩いてもらいました。イルミネーションは多くありますが、キャンドルの灯はこっぴで素晴らしいと喜んで頂きました。



▲カップの中でろうそくの灯りが揺れる

国登録文化財「梅谷家住宅」見学会を開催しました

郷土資料館 ☎079(435)5000

郷土資料館の令和3年度特別展「梅谷七右衛門清政と播磨町の先覚者たち」の関連事業として11月13日と14日に国登録文化財「梅谷家住宅」の見学会(事前予約制)を開催しました。播磨町で初めて登録された住宅を見学できる貴重な機会として、多くの方が興味深く見学されました。



▲和洋を合わせたモダンな住宅

キャンパスだより

歴史・人との出会い
～命のつながり 広島で学ぼう～

播磨南小学校 6年生

10月22日～23日の1泊2日の日程で、広島・宮島方面へ修学旅行に行ってきました。

初日は、まず、広島平和記念公園でガイドさんのお話を聞きながら碑巡りをし、平和の大切さについてしっかりと学ぶことができました。午後からは宮島へ移動し、世界文化遺産の厳島神社を見学し、歴史を肌で感じ取ることができました。また、もみじまんじゅう作りを体験したり、お土産を買ったりと、島内での時間を満喫することができました。2日目は、みろくの里での班別行動で、みんなで、絶叫マシンに乗ったり、ミールクーポンで好きなランチを食べたりして満足できる一日を過ごすことができました。児童全員が心から楽しめた修学旅行となりました。



わんぱくはりまっこ

募集中

町内在住の乳児から就学前の子どもの写真とメッセージを紹介するコーナーです。

写真(画像データ)と①子どもの氏名とふりがな②性別③撮影時の年齢④生年月日⑤住所⑥保護者氏名⑦連絡先電話番号⑧一言メッセージ(●より)をお寄せください。

申し込み先着順で掲載します。応募が多い場合、数か月お待ちいただくことがあります。まずは電話またはメールでご連絡ください。

▶申込み・問合せ 企画グループ
☎079(435)0356
kikaku@town.harima.lg.jp